

2026年度学校経営方針

大分県重点方針：変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造
中津市指導指針：自立する力を育て、社会で活躍できる子どもの育成

学校教育目標：自ら学び共に学ぶ、豊かな心をもった児童の育成

めざす学校像	めざす児童像	めざす教職員像
<ul style="list-style-type: none">・信頼される学校・笑顔と活力あふれる学校・安心・安全な学校	<ul style="list-style-type: none">・豊かな心もち、郷土と平和を愛する児童・自ら考え行動する児童・確かな学力・生活力を身につけた児童・人とのつながりを大切に社会性を身につけた児童・運動に親しみ、健康な体づくりに努める児童	<ul style="list-style-type: none">・人間性豊かで児童のウェルビーイングを一番に考える教職員・わかる授業を工夫・実践できる教師・個性を生かし、組織で動くことを意識し協働する教職員・社会から信頼される教職員

育成を目指す資質能力：問題発見・解決力（生活力）、人間関係・社会形成能力（社会性）

本年度の重点目標

【生きて働く知識・技能の習得】 分かる・できるを実感する

- ①算数・国語の単元テスト知識・技能領域の平均点⇒低学年85、中高学年80以上
- ②児童アンケートで「学習の約束を守ることができた」肯定的評価⇒85%以上
- ③児童アンケート「授業がわかる」否定的評価⇒10%以下

【思考力・判断力・表現力の育成】 言葉を通して伝え合う力をつける

- ①算数・国語の単元テスト思考・判断・表現領域の平均点⇒低学年85、中高学年80以上
- ②児童アンケート「自分の考えをもつことができた」肯定的評価⇒80%以上
- ③児童アンケート「友達の意見や考えを聞いて自分の学習に役立てることができた」否定的評価⇒10%以下

【学びに向かう力・人間性の涵養】 主体的・協働的に取り組み、より良い生活をつくらうとする

- ①児童アンケート「学校生活の振り返りを行い、クラスで決めためてを意識して行動できたか」肯定的評価⇒85%以上

本年度の取り組み

- ①「聞き方・話し方」「学習規律」の意識付けを全学級全職員で指導する
- ②自分での丸つけに「赤丸・青丸・聞丸」を全学年で実施する
- ③「基礎基本定着状況調査」「レディネステスト」を元に毎週1回「沖代タイム」に取り組む。
- ④全学級で児童の困りに応じた指導を行う。
- ⑤AIドリルの活用

- ①みんな活躍型授業で、1時間に1度は話し合いの場面を入れる。
- ②授業（国語・算数・理科・社会）を担当する教師は単元計画を掲示する。
- ③思考判断表現力の評価基準の授業で、必ず思案表を評価する練習問題をする。
- ④「主体的な学び」をする児童の姿を共通理解し研究を進める

- ①全学級で月めあてへの取組方と反省に取り組み、全教職員で児童の取り組みの様子を見とり励ます。
- ②全職員で縦割り掃除時間に見守りを行い、次の時間につながる反省会を行えるよう支援する